



炭竈 心く代 議員
公明党

問 教員の多忙化解消・負担軽減を

答 教職員の定数増等を国に要望

28年6月の文科省通知「学校現場における業務の適正化に向けて」において、教員業務の環境確保や働き方改善を求めている。その通知に伴い以下を問う。

問 本市における教職員の勤務時間の実態は。

答 教育部長 県教育委員会から適正な勤務時間を把握し、長時間労働の是正に努めるよう通知が出ている。本市においては27年度調査の結果、小学校では県平均以下であるが、中学校では長時間勤務が多い状況である。

問 業務多忙化解消へ、教育委員会、学校の具体的な取り組み方法は。

答 教育部長 校務支援ソフト導入、部活動の短縮など、県教育委員会の「教員の多忙化解消プラン」に基づき効率化、簡素化など、環境整備を整えていく。



▲市内中学校の授業風景(弥富北中学校)

問 子どもの安全と教育環境の充実を

答 総合教育会議にて議論を重ねる

問 登下校中の子どもの安全対策と教育環境の充実を図るべく以下を問う。



▲児童の登下校を見守るスクールガード(栄南小学校)

る立場から市長の認識は。

答 市長 警察のパトロール強化、スクールガードと学校の連携、防犯教室の開催、関係機関からの情報提供が必要である。さらに地域との連携を深め、子どもたちの安心安全を守っていかねばならない。

問 地域の見守り強化と自身を守るための子どもへの教育委員会の対応は。

答 教育部長 各学校の危機管理体制などを定期的に実態把握し、緊急時に指

導・助言を行い、迅速に対応できる体制を整備していく。

問 GPS機能付き防犯ブザーの導入状況は。

答 教育部長 引き続き検討していく。

問 学校ICT教育の進捗状況と今年度の取り組みは。

答 教育部長 29年度はパソコン教室の機器をタブレットに更新。無線LAN環境整備、電子黒板を各校1台ずつ増設。今後も引き続き検証していく。